



Sprout(MT4)の概要（バックテスト結果に基づく紹介）

【設定概要】

- ①通貨：複数
- ②ロット：0.07
- ③バックテスト期間：2012/2/7 ～ 2025/1/1
- ④モデリング品質：99.9%

【取引概要】

- ①総取引回数：4,275回
 - ➡年間平均 約330回の取引ペース。最大同時保有ポジションは5つ（ロング最大4ノショート最大4）。
- ②平均獲得PIPS：+4.09pips
 - ➡勝ち平均 +55.63pips、負け平均 -25.98pips。リスクリワード比 約2.14。勝率 36.8%。
- ③損益分岐率：32.4%
 - ➡勝率との差は +4.4pt。PF 1.22 を背景にバックテスト上で収益性を確認。

【特徴】

- ◆バックテスト上の総損益 +1,311,793円（初期証拠金100万円・Lot固定0.07）。
- ◆最大DD -110,462円（相対DD -11.0%）と中程度。
- ◆バックテスト期間全体で勝率は4割未満ながら、リスクリワード>2 とPF1.22により、長期的に右肩上がりを形成。

【留意すべき点・リスク】

- ◆バックテスト期間において、年単位のマイナス年は2024年のみ（合計 -68,101円）。それ以外の年はプラスだが、月単位では大きなマイナスが散見されるため、短期のブレに耐える資金管理が必要。
- ◆DD最大回復期間 304日20時間と長めで、資金耐久性が求められる。
- ◆バックテスト上、勝率は低めのため、取引回数の多さとリスクリワードで押し上げる設計。連敗や損益の振れに注意。

【補足】

本資料はバックテスト結果に基づいて特徴を整理したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
実際の取引環境（スプレッド、約定速度、口座条件など）によって結果が異なる可能性があります。